

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課
 担当名：農地活用担当
 内線：4097

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p9	見沼農業活性化対策事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	見沼農業振興対策費	
事業期間	平成12年度～	根拠法令	なし			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	
						分野施策	1001	みどりの保全と創出	
1 事業概要			5 事業説明						
貴重な都市近郊緑地空間である見沼田圃を保全・活用・創造していく上で、見沼農業が果たす役割は極めて重要となっている。 このため見沼農業の振興対策、支援体制の整備及び公有地化農地活用対策を講じ、見沼田圃の保全・活用・創造を図る。			(1) 事業内容 ア 農業経営指導事業 7千円 見沼田圃における農業経営及び生産技術を指導する。 イ 見沼農業支援体制整備事業 651千円 市民農園教室や農業体験教室など都市住民を対象とする農業体験イベントの開催や、農地調整活動等の業務を農林公社に委託する。 ウ 公有地化農地活用対策事業 44,634千円 公有地化農地の有効活用を図るため、公有地管理業務を農林公社に委託する。						
ア 農業経営指導事業 事務費の削減による減額 △1千円 ウ 公有地化農地活用対策事業 管理委託面積の確定に伴う減額 △1,623千円			(2) 事業計画 ア 担い手の組織的活動の推進、栽培技術研修会等の開催、市・JA等関係機関との連携、地域農業イベントの支援 イ 市民農園教室や農業体験教室の開催、見沼田圃内の農地の担い手へ農地集積を図るための情報収集・情報提供 ウ 公有地化農地の適正管理 (3) 事業効果 都市と調和した特色ある見沼農業が営まれることで、見沼田圃の保全・活用・創造に資する。 【活動指標(アウトプット)】 ア 市民農園教室、農業体験教室等の開催 令和7年度見込み8回、令和6年度実績13回、令和5年度実績13回、令和4年度実績8回、令和3年度実績9回 イ 公有地管理面積 令和7年度見込み12.3ha、令和6年度実績12.0ha、令和5年度実績11.9ha、令和4年度実績12.6ha、令和3年度実績12.7ha 【成果指標(アウトカム)】 都市と調和した特色ある農業振興と適切な土地利用の実現						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(4) その他 見沼田圃全面積 約1,262ha(うち農地約532ha) 見沼田圃内公有地 約33ha						
3 地方財政措置の状況 なし			(5) 補正予算の概要 ア 事務費の節減による減額 イ 管理委託面積の確定に伴う減額						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,624	繰入金	△1,623					△1	43,668
現計額	45,292		44,634					658	

事業内訳書

事業名	見沼農業活性化対策事業		
単位事業名	農業経営指導事業	予算額	△ 1千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1	—	
合計	△1	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△1	—	事務費の節減による通信運搬費の減 △1千円
合計	△1	—	

単位事業名	公有地化農地活用対策事業	予算額	△ 1,623千円
-------	--------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ さいたま環境創造基金繰入金	△1,623	—	
合計	△1,623	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△1,623	—	管理委託面積の確定に伴う契約金額の減 △1,623千円
合計	△1,623	—	